



平成24年11月30日

各 位

会 社 名 森下仁丹株式会社
代表者名 代表取締役社長 駒村 純一
(コード番号4524 東証、大証 各第2部)
問合せ先 取締役常務執行役員 武貞 文隆
電話番号 06-6761-1131(代表)

レアメタル回収モジュールを使用した事業化検証に関するお知らせ

ー三菱商事株式会社との共同開発に合意ー

森下仁丹株式会社（本社：大阪市中央区／代表取締役社長：駒村純一）は、合成高分子樹脂を皮膜とするシームレスカプセル技術応用の一環として、レアメタルや希少貴金属の効率的な回収が可能なバイオカプセルの開発に取り組んで参りました。その結果、独自のカプセル内部に吸着剤や特定の微生物を高濃度で保持させ、効率的にカプセル内部に非鉄金属イオンを取り込むことに成功し、本技術を平成22年11月に公立大学法人大阪府立大学と共同で特許出願いたしました。

この技術をより具体化する為に公立大学法人大阪府立大学大学院工学研究科（小西康裕教授ら）を共同研究先とし、三菱商事株式会社（東京本社：東京都千代田区／代表取締役社長：小林健）と共にレアメタル回収モジュールを使用した、事業化検証を開始します。

本モジュールは、レアメタルが溶けた液をバイオカプセルに通液し、レアメタルを回収する装置で、コンパクトな設計であることから、あらゆる現場に簡易に設置でき、工場排水等から、低エネルギー（低コスト）で環境への負荷が少なく、簡単にレアメタルを回収・濃縮できる画期的なプロセスとなることが期待されます。

本モジュールが普及することで、これまで廃棄されていた工場排水等から希少金属の大幅な回収が可能となり、わが国の海外資源依存率の低減を目指します。また、電子基盤等の固体廃棄物からのレアメタルや希少貴金属の回収プロセスに関しても別途開発を推進しており、都市鉱山等からの効率的な回収への利用も期待されます。

尚、本件の本年度業績への影響は軽微であり、本年度の業績予想に変更はありませんが、昨今の希少資源確保に纏わる情勢から、中長期における業績への寄与が期待されます。

以 上